

様式第 1 号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 8 年度第 1 回 所沢市地域公共交通協議会
開 催 日 時	令和 8 年 8 月 5 日(水) 午前 10 時から 11 時 40 分まで
開 催 場 所	所沢市役所高層棟 6 階 604 会議室
出 席 者 の 氏 名	(委員) 安藤 幸男、守谷 秀子、粕谷 雅子、楠田 房雄、岩澤 貴顕、 内田 正樹、秦野 凌、霜村 益久、関根 肇、尾崎 晴男、小嶋 文、 飯島 勲、鳥羽 隆史、平野 貴久、宮崎 文生、工藤 順一、小池 純一、 高野 淳、小寺 勝、倉部 陽司 (条例第 8 条による出席者) 所沢警察署 森谷氏
欠 席 者 の 氏 名	中野 幸、須田 静男、加藤 和伸、藤田 貢、香月 祥志
議 題	(1) 地域公共交通協議会の概要及び令和 8 年度の協議予定 (2) ところワゴンの運行状況について(報告) (3) 三ヶ島地区ところワゴンの路線の見直しについて(報告) (4) 所沢市地域公共交通計画の改定について(諮問) (5) その他
会 議 資 料	・ 次第 ・ 資料 1-1 所沢市地域公共交通協議会について ・ 資料 1-2 令和 8 年度の協議事項(予定) ・ 資料 2-1 ところワゴンの運行状況(3 年間)について(報告) ・ 資料 2-2 ところワゴンの運行状況(6 か月)について(報告) ・ 資料 3-1 三ヶ島地区ところワゴンルート変更後路線図 ・ 資料 3-2 三ヶ島ルート時刻表(オレンジ色) ・ 資料 3-3 林・粕谷ルート時刻表(青色) ・ 資料 3-4 若狭ルート時刻表(緑色) ・ 資料 3-5 三ヶ島地区ところワゴン系統図 ・ 資料 4 所沢市地域公共交通計画の改定について ・ 令和 8 年 7 月 1 日(水)運賃改定を実施いたします(西武バス)
担 当 部 課 名	街づくり計画部：増子次長 都市計画課：小暮課長、村田室長、児玉副主幹、杉本主任、松岡主任、 松田主任 【事務局】：街づくり計画部 都市計画課 電話 04-2998-9192

様式第 2 号

発言者	審議の内容(審議経過・決定事項等)
会長 委員 事務局 会長	1 開会 会議成立の報告(出席者 20 名) 2 委員紹介 3 副会長選出 委員の互選により、副会長に倉部委員を選出 (以下、尾崎会長が議長となり進行) ・ 会議は公開 ・ 傍聴者：2 人 4 議事 (1) 地域公共交通協議会の概要及び令和 8 年度の協議予定について ※資料 1-1～1-2 をもとに説明 本協議会の概要と、令和 8 年度の協議予定事項の説明があったが、意見・質問はあるか。 資料 1-2 に「ところバス・ところワゴンの再編はひとつの区切りを迎え」たとあるが、ところバス山口循環コース、吾妻循環コースは長大な路線のまま残っており、渋滞と遅延により利用者にも負担を強いている状態である。 限られた資源を有効活用するためには公共交通のネットワークで考えて、鉄道、バス、ところワゴン等の役割分担が求められる。 まだまだ課題はあると考えるが、事務局はどのように考えているか。 「ひとつの区切り」は、ところバスからところワゴンへの切り替えを進めていた三ヶ島、柳瀬、富岡の 3 地区全てで本格運行に移行したことを認識していただきたい。 ところバス、ところワゴンの運行については、課題を把握しながら、必要な見直しを継続してサービス向上に努めたい。 ところバスの路線見直しについては、計画改定に向けた議論の中でも

	テーマになるのではないか。 他に意見・質問はあるか。
各委員	(なし)
会長	資料 1-2 にあるとおり、今年度の協議でも各委員から議題提供をいただければと思う。
	(2) ところワゴンの運行状況について（報告） ※資料 2-1～2-2 をもとに説明
会長	事務局から説明があつたが、意見・質問はあるか。
委員	三ヶ島地区のところワゴンの利用者数は年々増えているが、その母数となる地区の人口や、高齢者の人数はどのように変化しているのか。
事務局	地区人口は横ばいか微減である。高齢者の人数は、手元に詳細なデータはないが、市全体と同様に高齢化率は高まる傾向にあると考えている。
会長	そのような基礎情報も、今後の分析では必要になるかもしれない。 他に意見・質問はあるか。
各委員	(なし)
	(3) 三ヶ島地区ところワゴンの路線の見直しについて（報告） ※資料 3-1～3-5 をもとに説明
会長	事務局から説明があつたが、意見・質問はあるか。
各委員	(なし)
	(4) 所沢市地域公共交通計画の改定について（諮問） ※資料 4 をもとに説明

会長	事務局から説明があったが、意見・質問はあるか。
委員	バスロケーションシステムから取得するデータというのは、どのような内容か。
事務局	ところバスに導入しているバスロケーションシステムでは、停留所ごとの遅延時間と、乗降口にそれぞれ設置したカメラによる停留所ごとの乗降人数のデータを令和6年10月以降蓄積している。バスの車内での移動を追いかけているわけではないので、どこから乗ってどこで降りたか（OD）の形にはなっていない。
委員	カメラやシステムの精度が上がれば、近い将来、ODを追いかけることも可能になるのではないかと思います。
会長	本日の諮問に対する答申は、どの段階で出すことになるか。
事務局	資料4のスケジュールに記載のとおり、令和10年2月の協議会で内容が固まった完成版を付して、答申を出していただくことになる。
会長	途中で委員の交代もある長丁場となるが、しっかりと議論していきたい。
委員	(5) その他 ・ 令和8年7月1日のバス運賃改定について（バス事業者） 運転手の待遇改善や燃料高騰に対応するため、令和8年7月1日に埼玉県内の路線で運賃改定を実施した。また、将来の担い手となってくれるこども達にバスに親しんでもらうため、西武バスの全路線において、小児用ICカードでの乗車の場合には、一律100円のこども運賃を開始した。
委員	・ 市内鉄道駅周辺道路の混雑について（バス事業者） 市内の路線の中で、所沢駅一東所沢駅を結ぶ路線については、利用者も多く、サービス水準を確保すべき主要路線と考えているが、東所沢駅のロータリーへの出入口で歩行者が途切れるのを待つため、かなりの時間のロスが発生している。また、所沢駅南側の大踏切でアンダーパスが完成すると、東西の行き来が容易になる一方で、所沢陸橋の混雑が増すのではないかと懸念している。 渋滞を考慮したダイヤを組むと所要時間が増し、他の路線を減便せざ

	るを得ないようなことも起こり得る。 課題も山積していると思うが、駅周辺の道路混雑の解消に向けて、関係者の協力を願いたい。
委員	・所沢駅－伊香保・草津高速バスの運行開始について（バス事業者） 報道されているとおり、8月20日（木）から所沢駅東口から伊香保温泉、草津温泉を結ぶ高速バスが1日1往復運行する。 運行事業者は西武バスではないが、これを新たなきっかけとして、所沢市内の公共交通の利用の喚起につながるのではないかと考えている。
委員	・山形県鶴岡市の小型バス事例紹介（市民委員） 山形県鶴岡市で、大型バスから小型バスに切り替えたことで利用者が5倍に増えた事例が、動画サイトで紹介されている。単にルートを見直しただけではなく、乗り方教室を重ねて利用者を増やしている経緯が所沢市でも参考になるのではないかと。ぜひ視聴していただきたい。
会長	他の自治体での工夫は、所沢市でも参考にできる可能性がある。計画の改定でも様々な事例を参考にして議論ができればと考える。
委員	・所沢駅エスカレーターの案内音声について（市民委員） 所沢駅のホームから改札階に向かうエスカレーターで、中央改札と南改札のどちらに向かうのか、視覚に障害がある乗客にもわかるように案内音声に追加してもらいたいという話をしたところ、鉄道事業者からは「国のガイドラインに従っているため、変更の予定はありません」という回答があった。また、改札階で中央改札と南改札を結ぶ点字ブロックの敷設を希望すると「通路ではなく商業施設の一部のため敷設の予定はありません」と回答され、困っている。
会長	ガイドラインは大枠で、個別の事情はそれぞれ柔軟に対応するのが良いと個人的には考えるが、鉄道事業者にも事情や考え方がある。事務局を通して再度確認することで良いか。
事務局	事務局で確認の上、回答させていただく。
事務局	・啓発缶バッジについて ところバス、ところワゴンの利用啓発のため、缶バッジを作成した。本日、机上に配布したので、ぜひバッジを付けて普及に努めていただ

事務局	きたい。 ■次回の協議会の日程について 令和 8 年 11 月 25 日（水）午後 2 時からを予定している。 詳細は改めて連絡する。
会長	以上で議事を終了する。 4 閉会